

吹田市コミュニティバス運行事業評価会議

議事説明資料

吹田市 土木部 総務交通室

令和7年11月20日（木曜日）

吹田市コミュニティバス運行事業の概要

項目	内 容
事業コンセプト	市内の交通空白・不便地において、高齢者等移動制約者の移動手段の確保等のため、持続可能な交通システム形成の一環としてのコミュニティバスを位置付け、便利で誰もが気軽に利用できるバスを目指す
運行事業者	阪急バス株式会社 ※公募型プロポーザル方式で運行事業者を選定
事業経過	千里丘地域は平成18年度に試験運行開始、平成23年度より本格運行 千里山地域は令和3年度に試験運行開始、令和6年度より本格運行 (詳細は参考資料 参照)
運行地域	千里丘地域：平日22便・土日祝18便（ひまわりルート・あおばルート合計） 千里山地域：平日・土日祝11便（たけのこルート） (運行ルート・運行時刻は利用案内参照)
運賃	おとな 250円 子ども（小学生以下） 130円 (運賃改定 令和6年4月1日 200円⇒220円、令和7年4月1日 220円⇒250円)
備考	運行経費等から運行収入を差し引いた額を市が補助する



評価会議の趣旨

◆ 継続・見直し基準※1による評価（毎年実施）

運行事業者による運行実績の報告

コミバス運行事業評価会議（3年毎実施）

◆ コミバス運行事業の評価

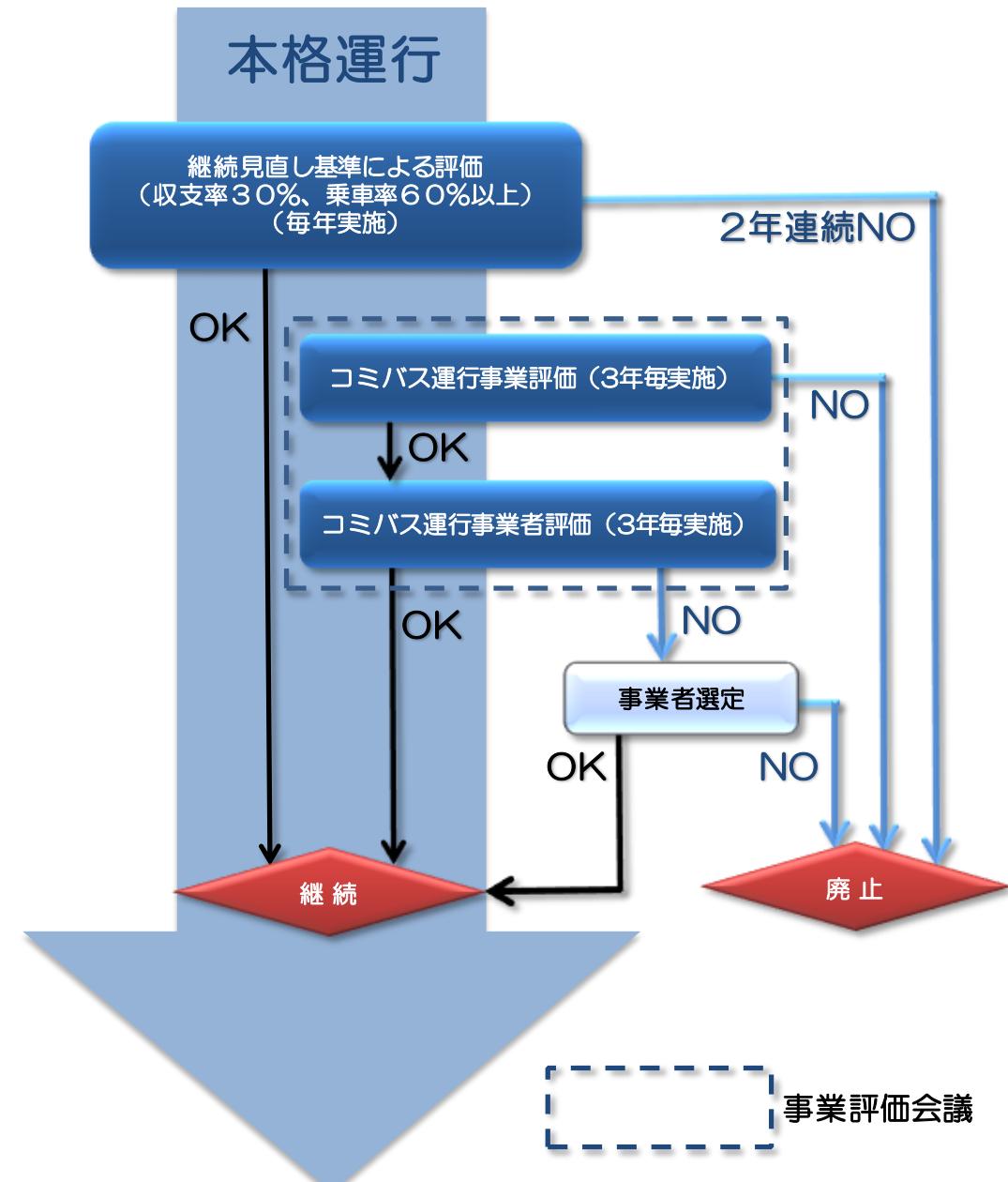
利用者アンケート等による事業満足度等の確認

◆ コミバス運行事業者の評価

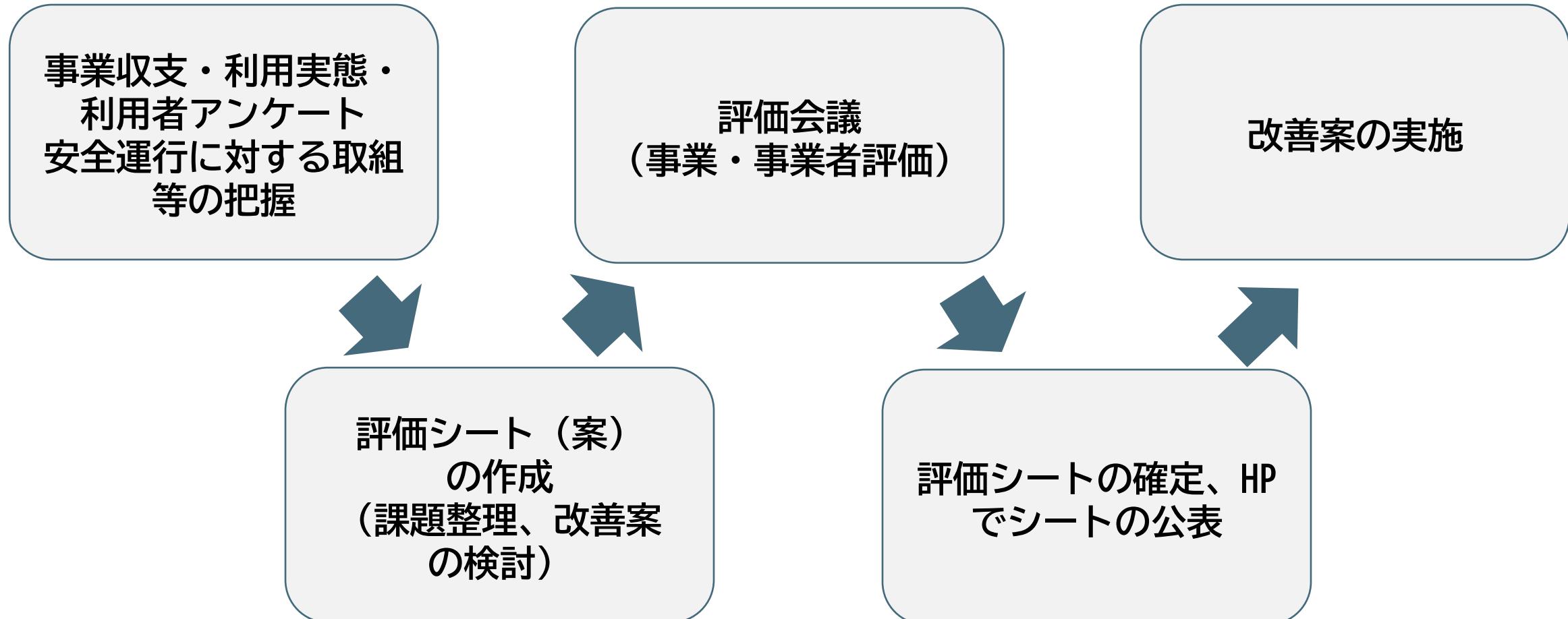
運行事業者による運行に関する取組の報告

以上を踏まえ、今後の事業・事業者継続の判断や、
利用者ニーズに応じた改善等を行うことを目的とする

※1 平成21年4月 策定



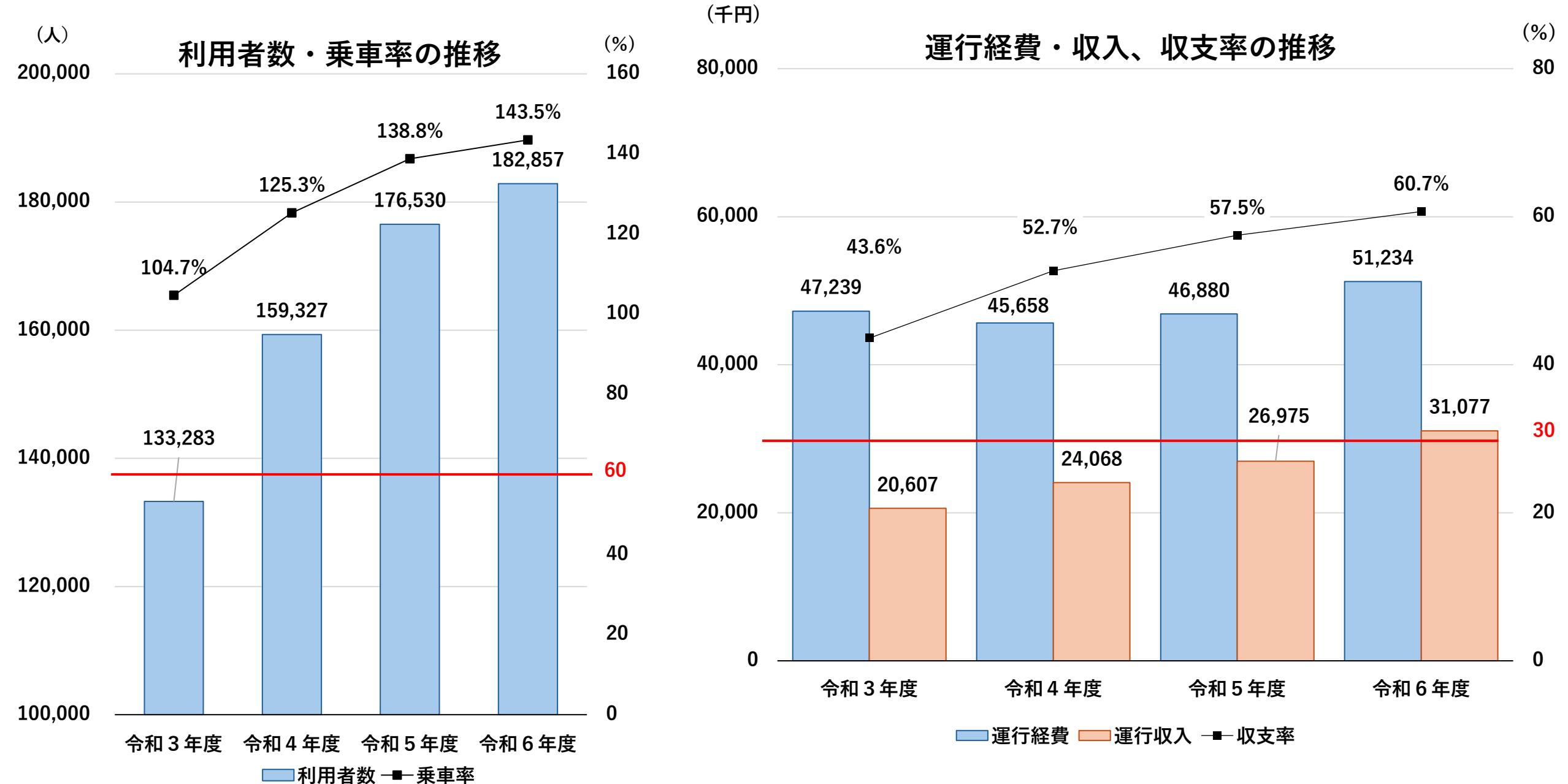
今回の評価会議プロセス



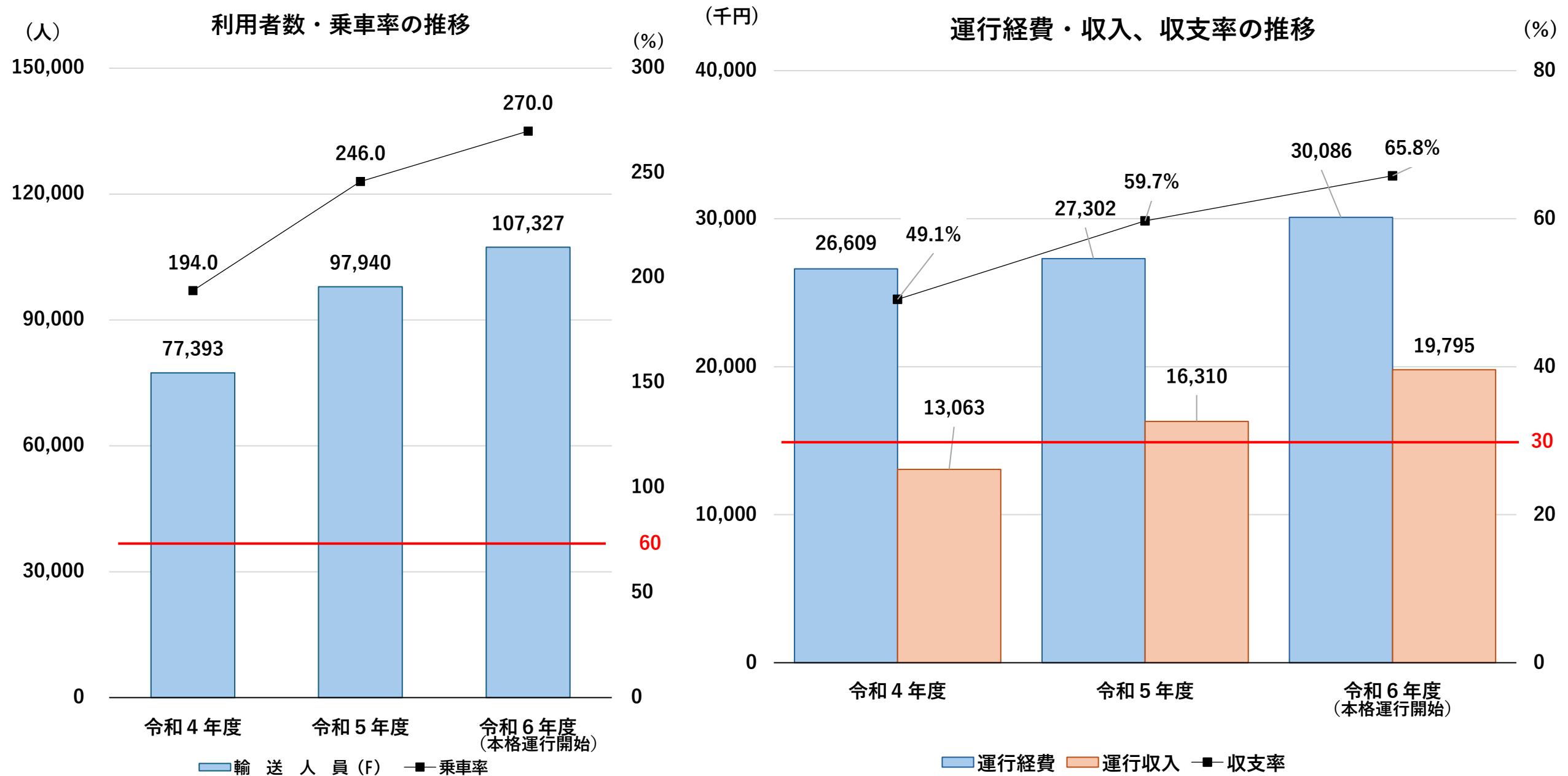
コミュニティバス運行事業の評価項目

項目	定義	計測方法	基準等
利用者数	年間の乗降者数	乗務員による測定結果等により確認	
収支率	運行経費(車両購入費を除く)に対する運賃等の収入の割合	年間の運行経費と運賃等の収入により算定	収支率30%以上 乗車率60%以上
乗車率	座席数に対する1便あたり平均乗車人員の割合	年間の乗車人員より算定	
定時性	時刻表との乖離時間	バスロケーションシステムによる計測	5分以内
サービス満足度	運行便数・運行ルート・運賃・事業全体に対して、満足と思う人の割合 乗務員の運転・態度に対して満足と思う人の割合	利用者アンケート調査により確認	課題・改善案の検討
環境負荷低減効果	マイカーの使用頻度に対する変化		

利用者数・収支率・乗車率推移（千里丘地域）



利用者数・収支率・乗車率推移（千里山地域）



定時性調査について

調査方法

全停留所で時刻表と出発時刻との時間差をバスロケーションシステムより計測（阪急バス）

調査期間内において、時刻表と通過時間の時間差を平均し算出（平日・土日祝別）

調査期間

令和7年8月1日（金）～令和7年8月31日（日）（内、平日21日、土日祝10日）

調査結果

基準値：5分以内

地区＼平均の遅延時間		平日	土日祝
千里丘地域	ひまわりルート	1分31秒	1分53秒
	あおばルート	1分12秒	1分32秒
千里山地域	たけのこルート	54秒	1分17秒

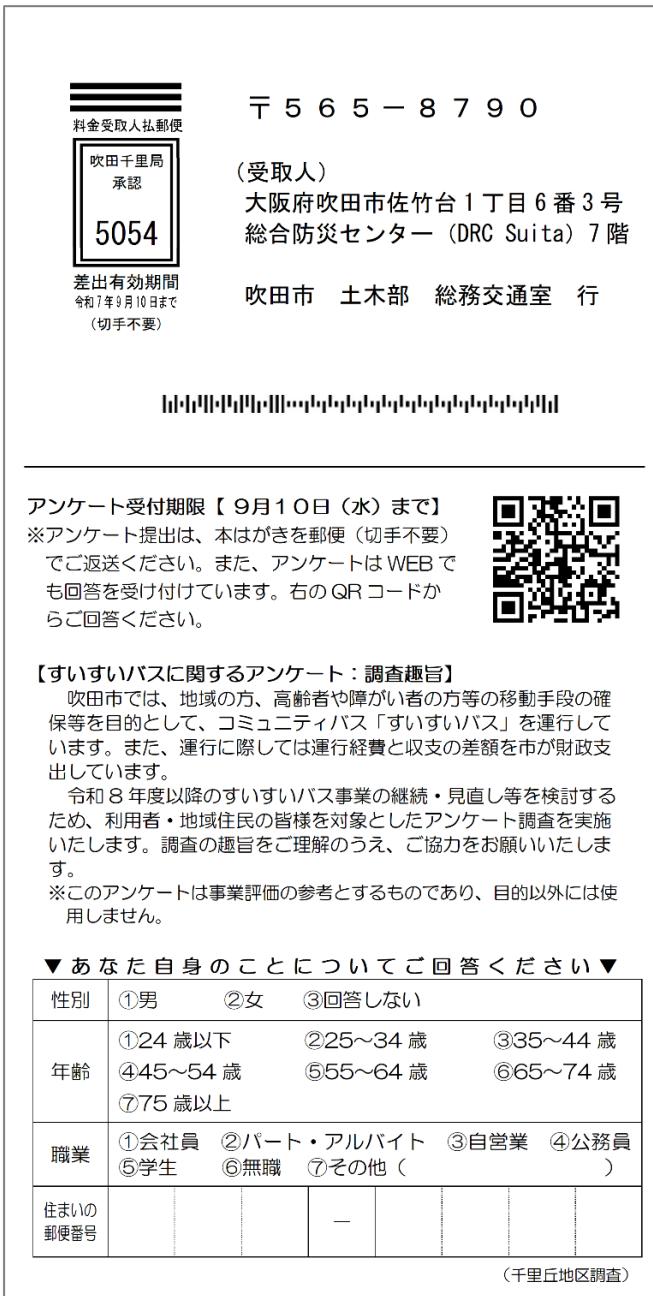
サービス満足度の確認

項目	内 容	調査中写真
調査方法	車内調査員によるアンケート調査票配布（無記名） 降車時回収及び郵送回収方式（WEB併用）	
対象者	すいすいバスの乗客（千里丘・千里山地域別）	
調査日時	令和7年8月7日（木）、令和7年8月9日（土） ※始発～最終まで	
配布数	千里丘地域（あおば・ひまわりルート）731枚 配布（乗車数 1172人） 千里山地域（たけのこルート） 418枚 配布（乗車数 636人） ※調査員によるカウント	
回収数	千里丘地域 615枚（回収率84.1%）【調査票回答 577枚、WEB回答 38枚】 千里山地域 363枚（回収率86.8%）【調査票回答 348枚、WEB回答 15枚】	

利用者アンケートの調査項目・調査票

問	項目	目的
設問	性別、年齢層、職業、住所	回答者属性の把握
問1	利用目的について	
問2	利用する停留所	現在の利用状況の把握
問3	利用頻度について	
問4	運行便数について	
問5	運行ルートについて	
問6	運賃について	
問7	乗務員の運転について	サービス満足度の把握 利用者改善意向の抽出
	乗務員の態度について	
	車両の快適性について	
	事業全体について	
問8	マイカー使用の頻度について	現在の利用状況の把握
問9	ご意見・ご要望（自由回答）	地域ニーズの抽出

R4調査結果との比較（千里丘地域のみ）



すいすいバスに関するアンケート調査へご協力ください

問1. すいすいバスを利用する目的はなんですか？（複数選択可）

①通院 ②買い物 ③教養・習い事・娯楽 ④通勤・通学
⑤市の施設等での用事 ⑥その他（ ）

問2. 普段利用するバス停はどこですか？

乗車（ ） ⇒ 降車（ ）

問3. すいすいバスの利用頻度はどれくらいですか？（○は1つ）

①ほぼ毎日 ②週2~3回 ③月2~3回 ④月1回程度
⑤ほとんど利用しない

問4. 現在の運行便数についてどう思われますか？（○は1つ）

①今より多い方がよい ②現状でよい ③今より少なくてよい

問5. 現在の運行ルートについてどう思われますか？（○は1つ）

①現状でよい ②変更した方がよい

問6. 現在の運賃についてどう思われますか？（○は1つ）

※現在、おとな1回の運賃は250円、回数券利用時は1回約208円です
①今より安い方がよい ②現状でよい ③今より高くてよい

問7. すいすいバスの満足度をお答えください。（それぞれ1つに○）

乗務員の運転	良い	やや良い	ふつう	やや悪い	悪い
	①	②	③	④	⑤

乗務員の態度	①	②	③	④	⑤
--------	---	---	---	---	---

車内の快適性	①	②	③	④	⑤
--------	---	---	---	---	---

全体の満足度	①	②	③	④	⑤
--------	---	---	---	---	---

問8. 自家用車をお持ちの方へ：「すいすいバス」の利用で運転頻度は変わりましたか？（○は1つ）

①減少した ②変わらない ③増加した

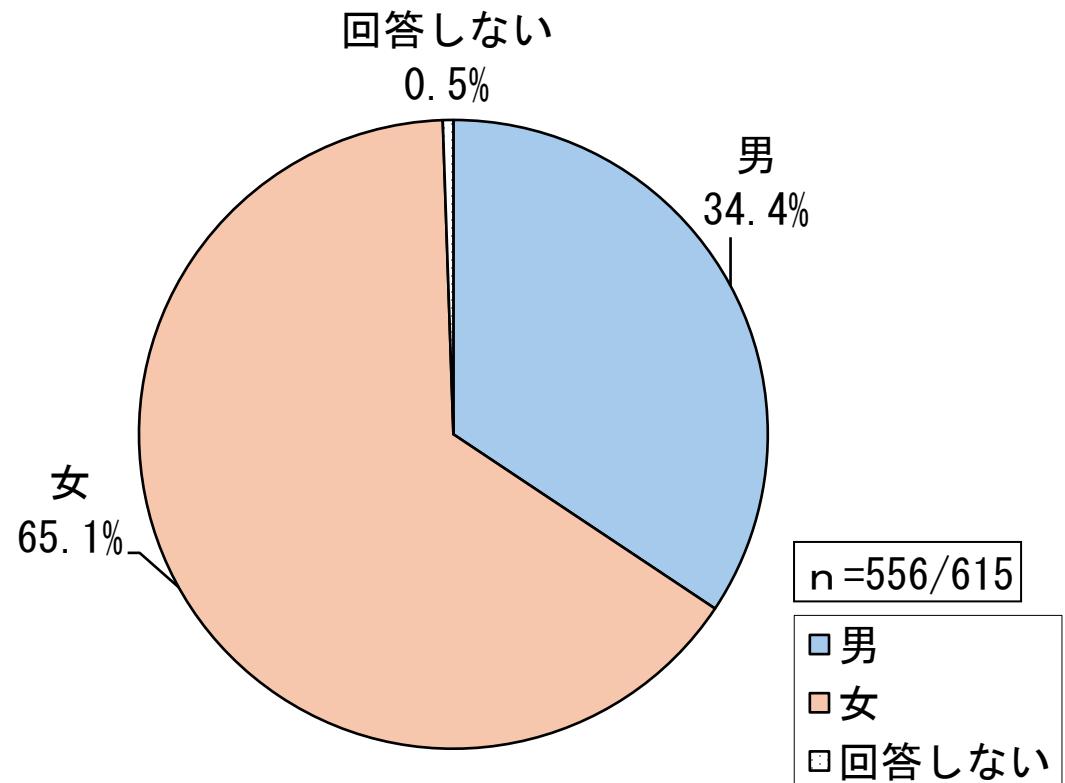
問9. すいすいバスへのご意見・ご要望などをお書きください。

（自由回答）

アンケート調査結果「回答者属性・性別」

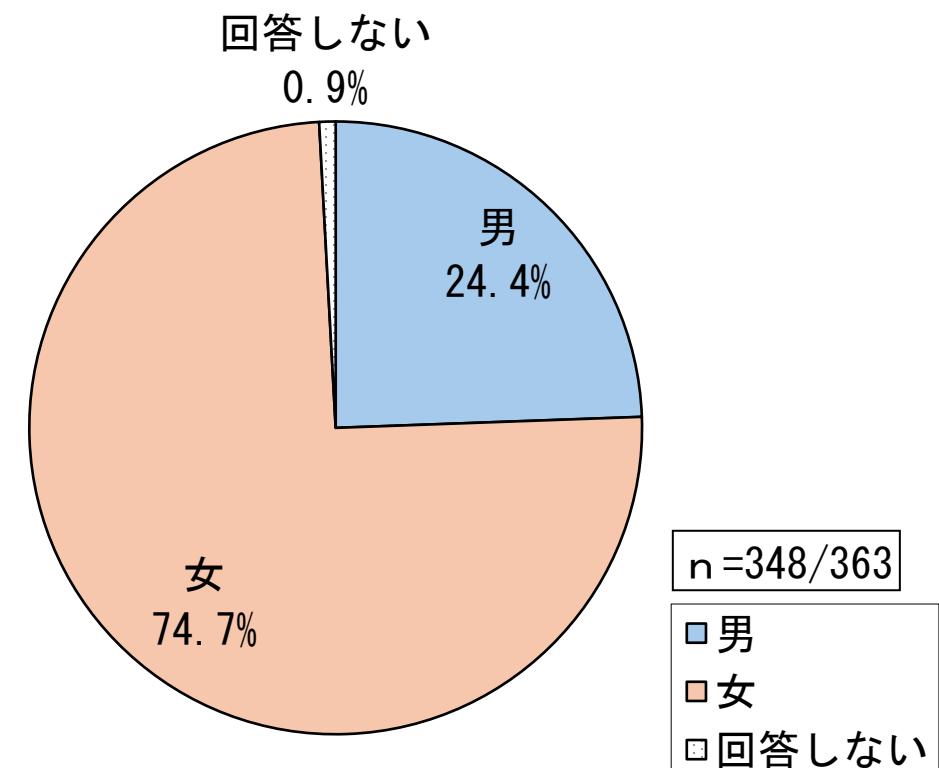
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

女性の回答者が65.1%、男性が34.4%。



千里山地域（たけのこルート）

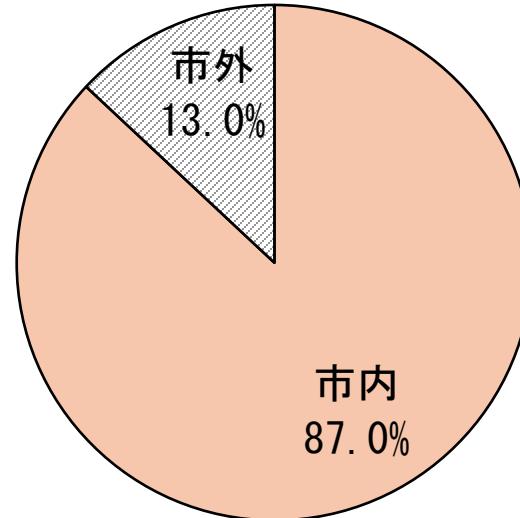
女性の回答者が74.7%、男性が24.4%。



アンケート調査結果「回答者属性・住まいの地域」

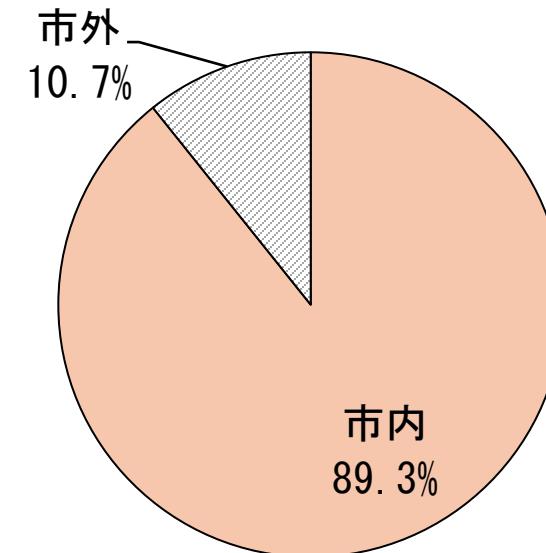
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

市内居住者が87.0%を占める。



千里山地域（たけのこルート）

市内居住者が89.3%を占める。



市内居住地ランキング（上位5地域）

カテゴリーナイ	n	%
千里丘（郵便番号下4桁：0811～0815）	150	29.2
新芦屋上・下	136	26.5
清水	54	10.5
長野（郵便番号下4桁：0816・0817）	34	6.6
山田（郵便番号下4桁：0821～0824）	19	3.7

市内居住地ランキング（上位5地域）

カテゴリーナイ	n	%
千里山（郵便番号下4桁：0842～0852）	123	40.1
春日	79	25.7
江坂町	34	11.1
佐竹台	13	4.2
その他市内	25	6.8

アンケート調査結果「回答者属性・年齢」

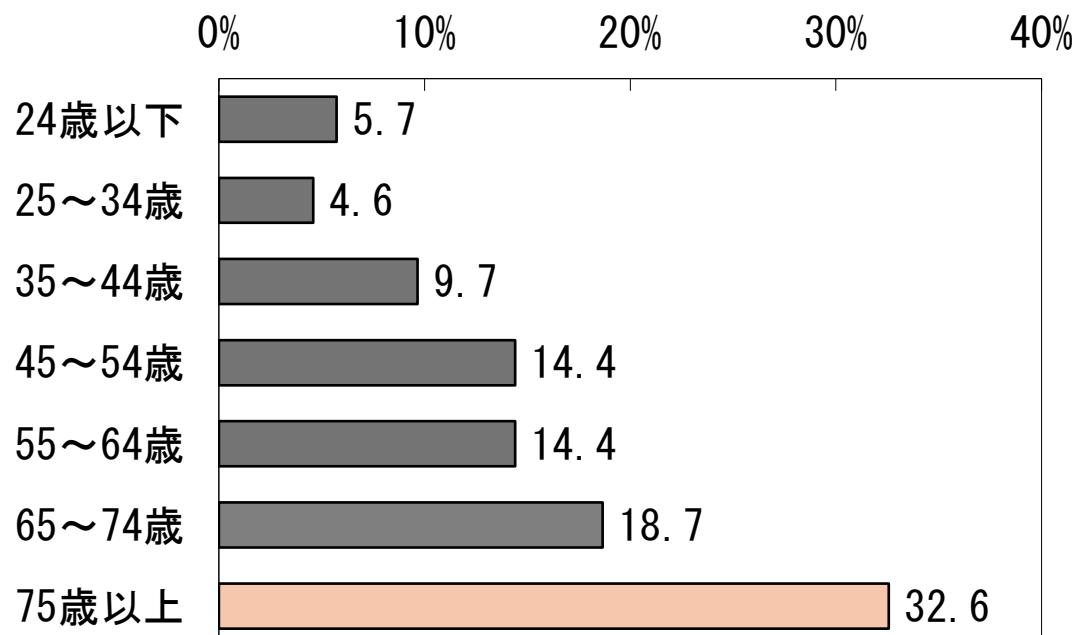
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

65歳以上の回答者が合計51.3%を占める。

千里山地域（たけのこルート）

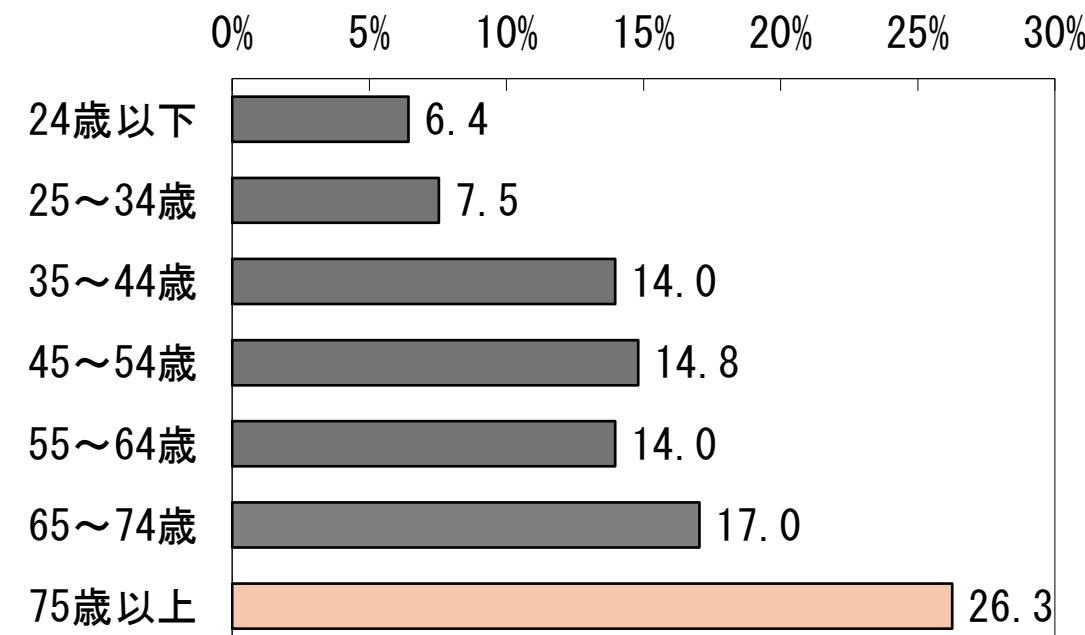
65歳以上の回答者が合計43.3%を占める。

n=611/615



※65歳以上の合計：51.3%

n=358/363

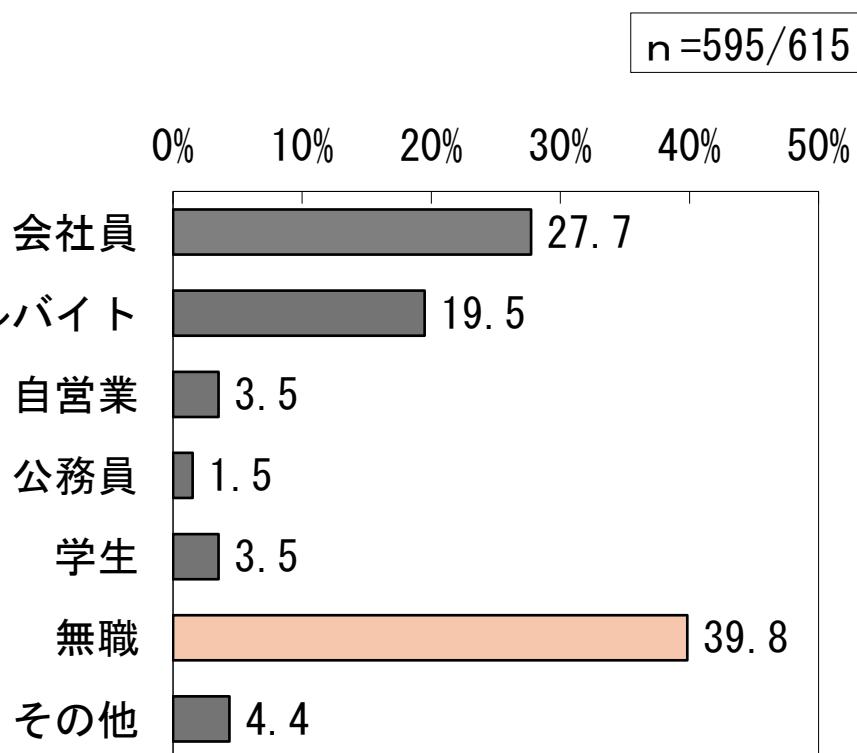


※65歳以上の合計：43.3%

アンケート調査結果「回答者属性・職業」

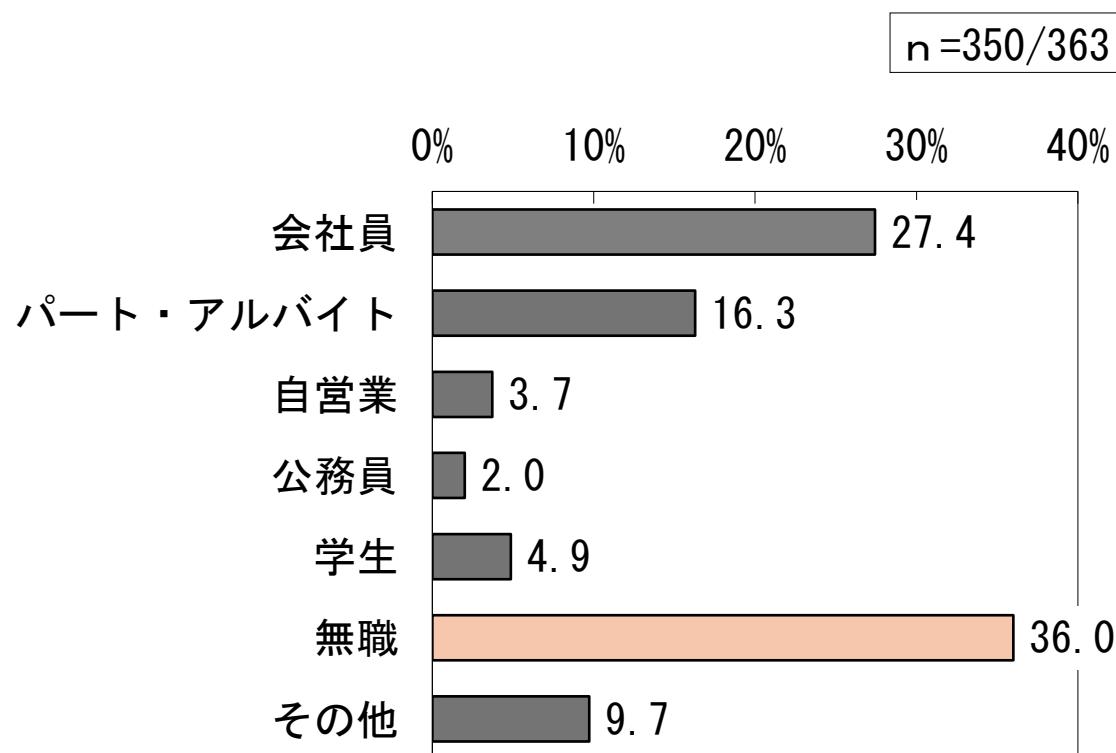
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

無職が39.8%で最も多く、次いで会社員が27.7%。



千里山地域（たけのこルート）

無職が36.0%で最も多く、次いで会社員が27.4%。



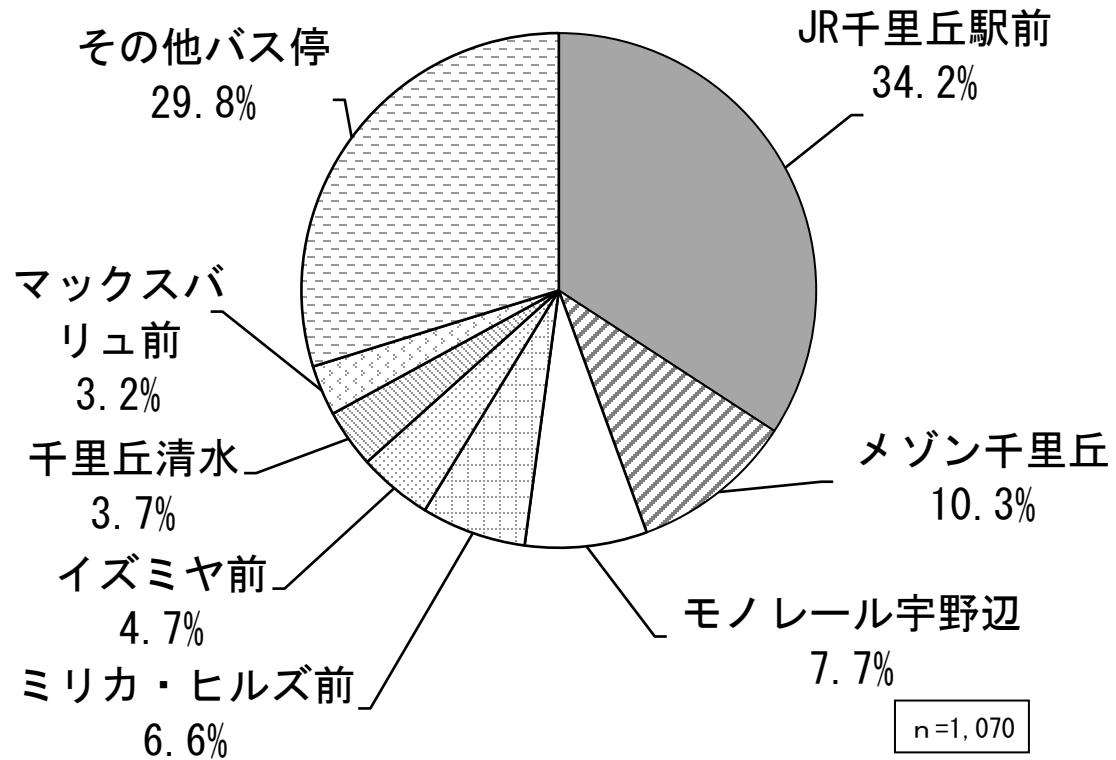
※その他：主婦・団体職員・ボランティア・法人役員・作業所通所 等

アンケート調査結果「普段利用するバス停」

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「JR千里丘駅前」が34.2%で最も多い。
「メゾン千里丘」が次いで多い。

「鉄道駅」を目的地とする利用者が多く、
次いで「イズミヤ前」の利用が多い。



乗車・降車バス停上位10位

乗車バス停	n	%
JR千里丘駅前	102	8.5
メゾン千里丘	101	8.4
ミリカ・ヒルズ前	52	4.3
千里丘清水	31	2.6
マックスバリュ前	28	2.3
千里丘北	26	2.2
新芦屋	25	2.1
モノレール宇野辺	23	1.9
山田南	22	1.8
吹田徳洲会病院前	16	1.4

降車バス停	n	%
JR千里丘駅前	308	25.7
モノレール宇野辺	69	5.8
イズミヤ前	40	3.3
ミリカ・ヒルズ前	27	2.3
メゾン千里丘	22	1.8
吹田徳洲会病院前	18	1.5
千里丘清水	13	1.1
マックスバリュ前	10	0.8
千里丘下	8	0.7
千里ディアヒルズ前	8	0.7

■ 居住地と考えられる場所

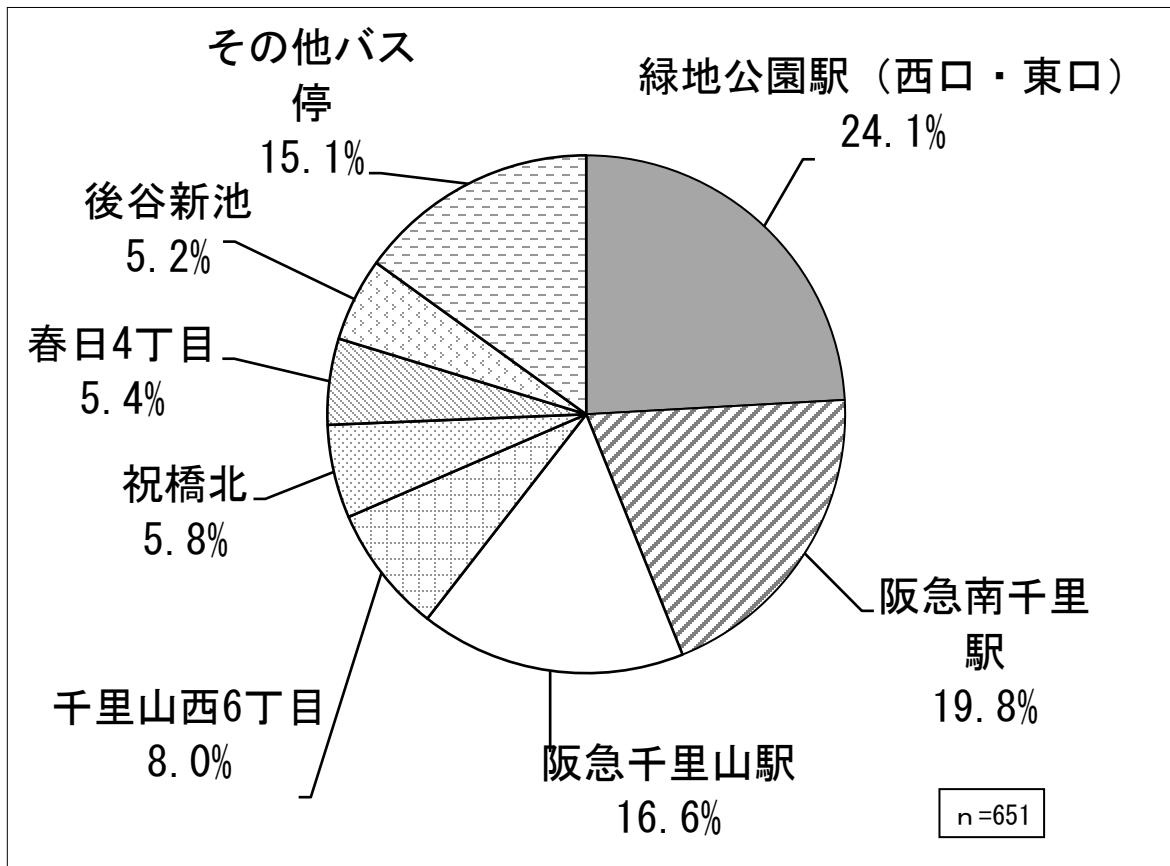
■ 目的・経由地と考えられる場所

アンケート調査結果「普段利用するバス停」

千里山地域（たけのこルート）

「緑地公園駅（西口・東口）」が24.1%で最も多い。
「阪急南千里駅」「阪急千里山駅」がいずれも約16~20%。

「鉄道駅」を出発地・目的地とする利用者が多い。



乗車・降車バス停上位10位

乗車 バス停名	n	%
阪急千里山駅	59	9.1
阪急南千里駅	40	6.1
千里山西6丁目	34	5.2
緑地公園駅（西口・東口）	33	5.1
後谷新池	30	4.6
春日4丁目	24	3.7
祝橋北	23	3.5
江坂町5丁目	14	2.2
千里山西4丁目	12	1.8
春日1丁目北	11	1.7

降車 バス停名	n	%
緑地公園駅（西口・東口）	124	19.0%
阪急南千里駅	89	13.7%
阪急千里山駅	49	7.5%
千里山西6丁目	18	2.8%
祝橋北	15	2.3%
春日4丁目	11	1.7%
千里山竹園1丁目	9	1.4%
砂子谷	4	0.6%
後谷新池	4	0.6%
千里山西4丁目南	4	0.6%

■ 居住地と考えられる場所

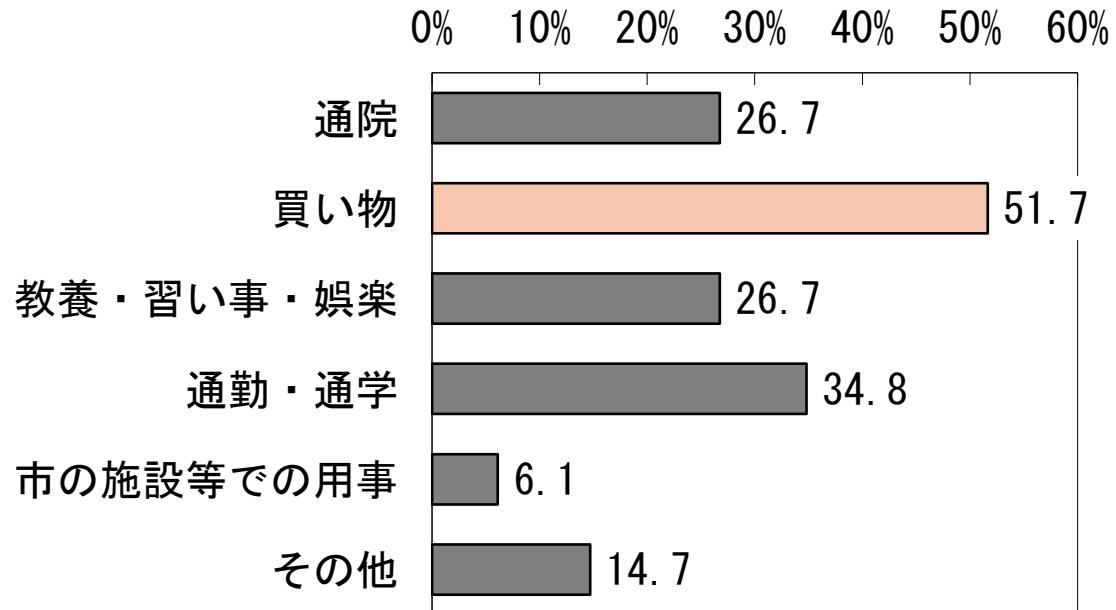
■ 目的・経由地と考えられる場所

アンケート調査結果「すいすいバスの利用目的」

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「買い物」が51.7%で最も多い。「通勤・通学」「通院」「教養・習い事・娯楽」がいずれも約27%～35%。

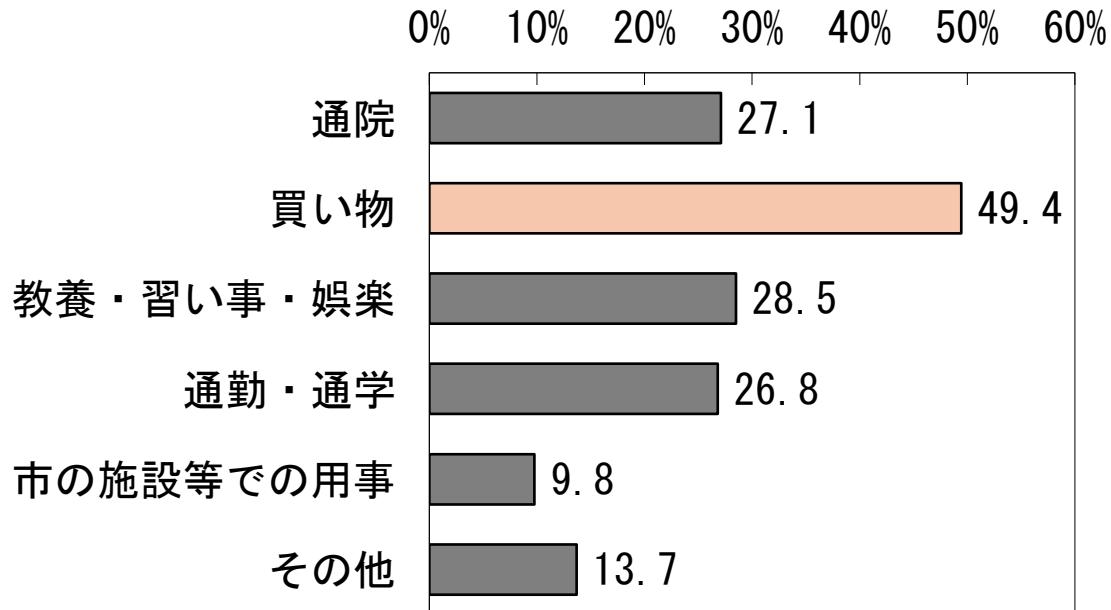
n=606/615



千里山地域（たけのこルート）

「買い物」が49.4%で最も多い。「教養・習い事・娯楽」「通院」「通勤・通学」がいずれも約26%～28%。

n=358/363



※その他：介護・実家への帰省・ボランティア・旅行・美容院 等

アンケート調査結果「すいすいバスの利用頻度」

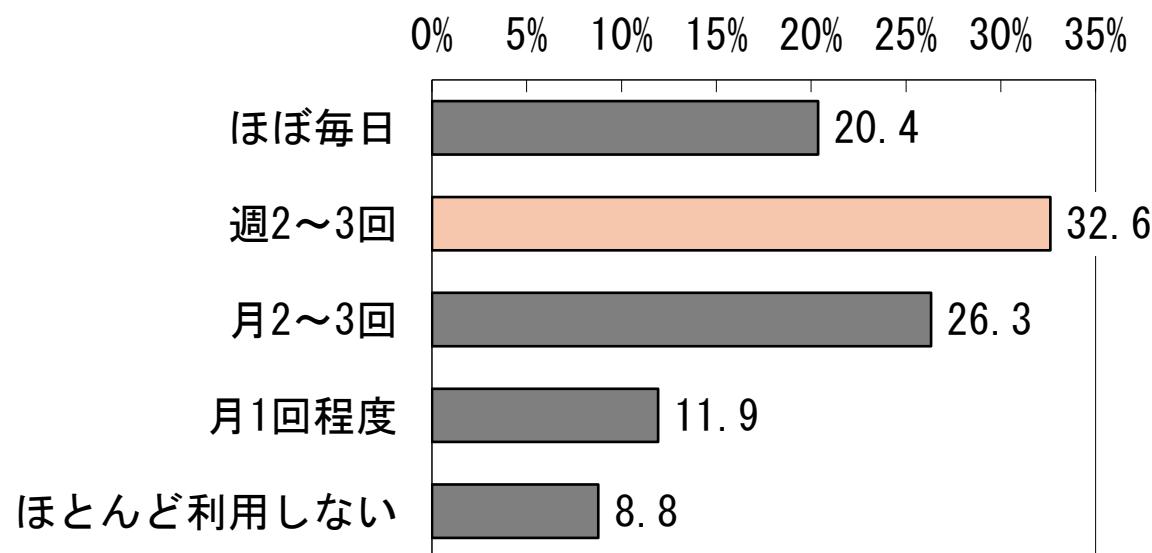
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「週2～3回」が最も多く32.6%、
次いで「月2～3回」が26.3%、「ほぼ毎日」が20.4%。

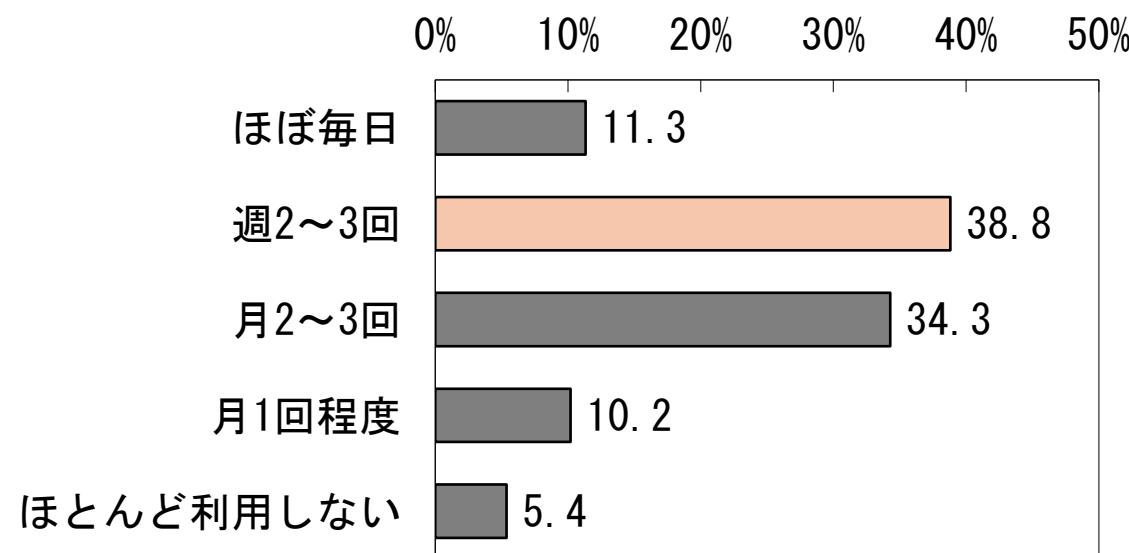
千里山地域（たけのこルート）

「週2～3回」が最も多く38.8%、
次いで「月2～3回」が34.3%。

n = 604/615



n = 353/363



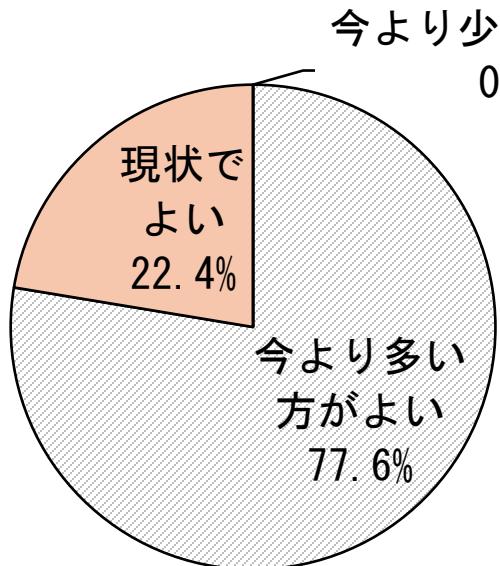
アンケート調査結果「現在の運行便数について」※評価項目

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

千里山地域（たけのこルート）

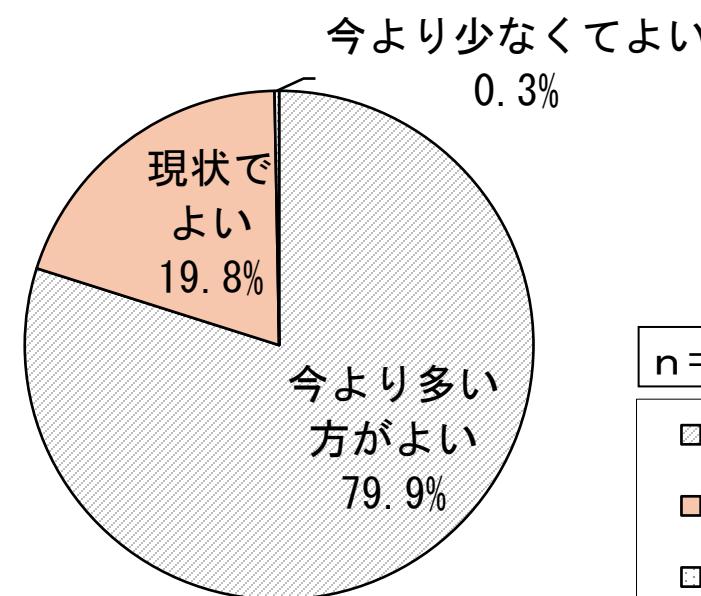
「現状でよい」が22.4%。

「現状でよい」が19.8%。



n=603/615

- 今より多い方がよい
- 現状でよい
- 今より少なくてよい



n=348/363

- 今より多い方がよい
- 現状でよい
- 今より少なくてよい

【主な意見】

- ✓ 運行便数の増加
- ✓ 始発の増便・早期化
- ✓ 終便の増便・延長

【主な意見】

- ✓ 運行便数の増加
- ✓ 始発の増便・早期化
- ✓ 終便の増便・延長

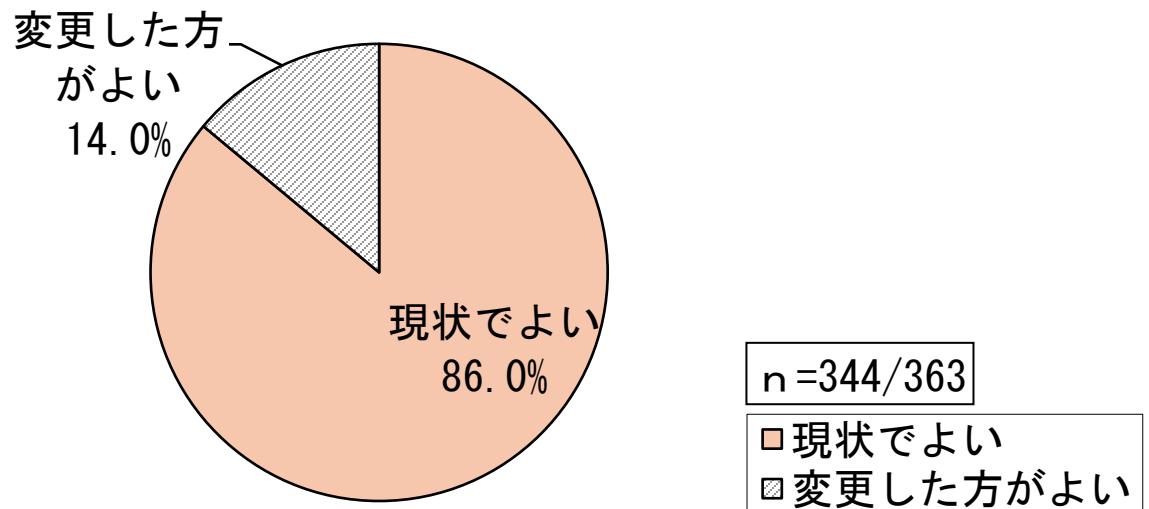
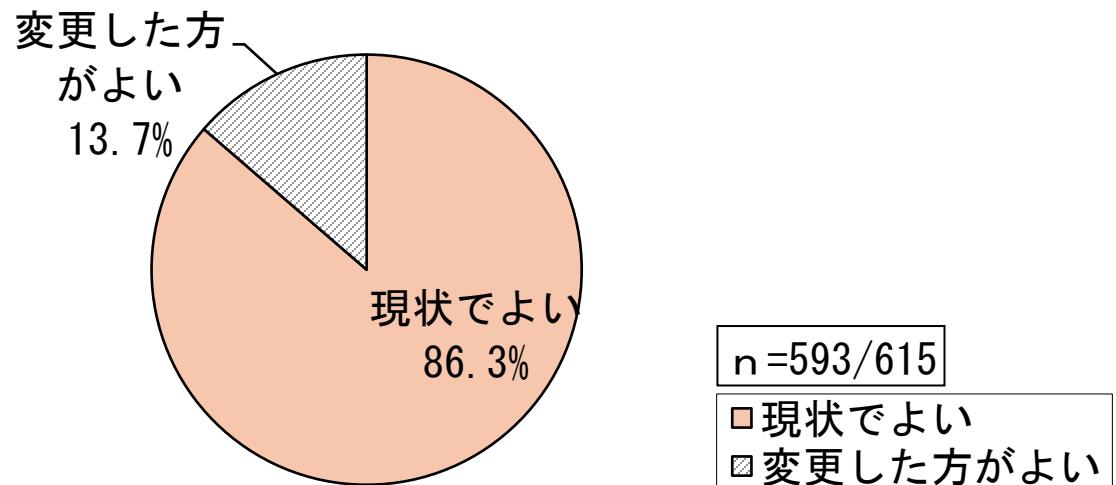
アンケート調査結果「現在の運行ルートについて」※評価項目

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

千里山地域（たけのこルート）

「現状でよい」が86.3%。

「現状でよい」が86.0%。



【主な意見】

- ✓ 茨木駅
- ✓ 摂津市方面
- ✓ 岸辺駅
- ✓ エキスポシティ
- ✓ 市役所

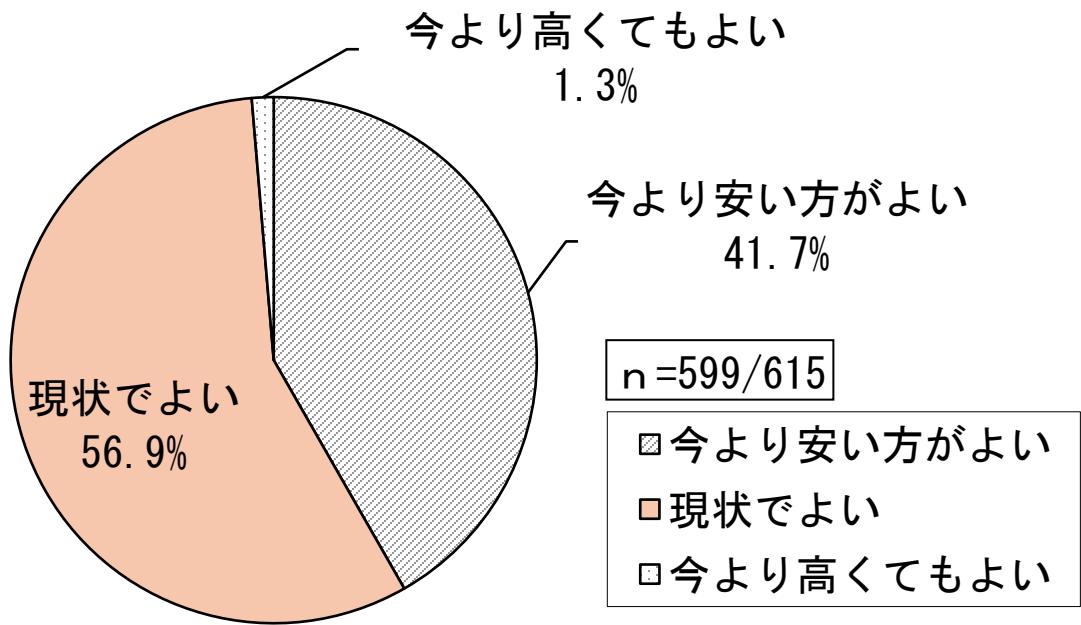
【主な意見】

- ✓ 桃山台駅
- ✓ 江坂駅

アンケート調査結果「現在の運賃について」※評価項目

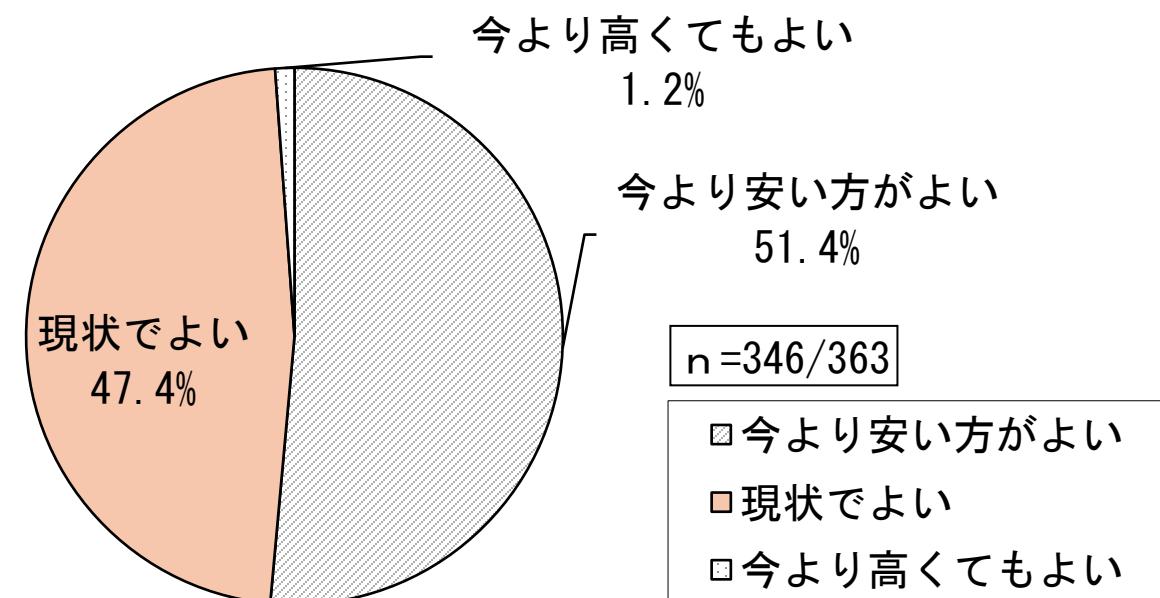
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「現状でよい」が最も多く56.9%。



千里山地域（たけのこルート）

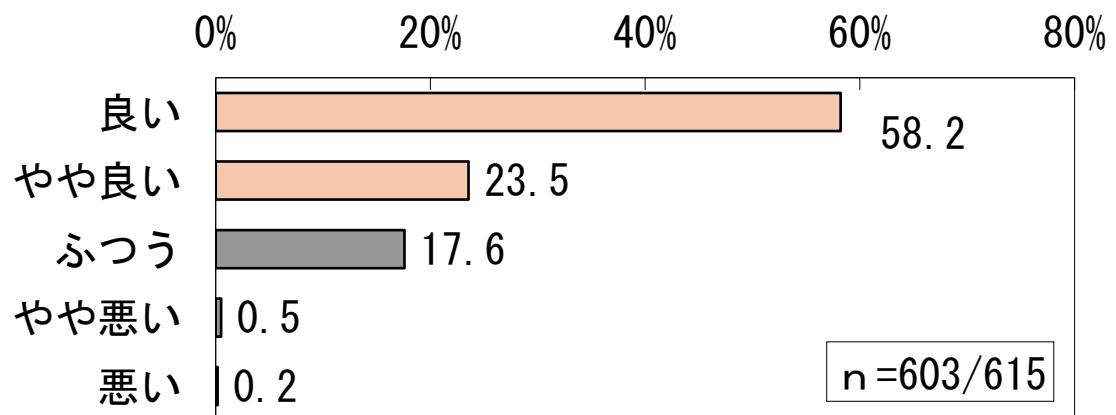
「今より安い方がよい」が最も多く51.4%。



アンケート調査結果「乗務員の運転」※評価項目

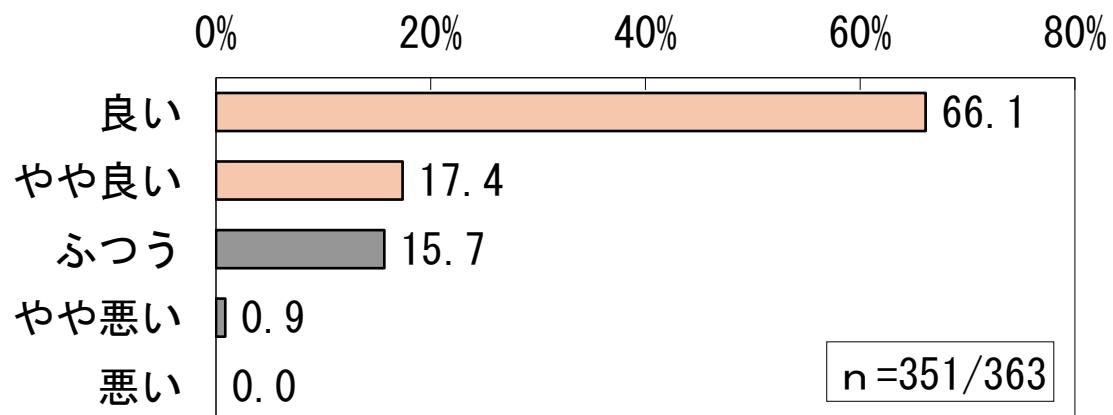
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「良い」と「やや良い」の合計が81.7%。



千里山地域（たけのこルート）

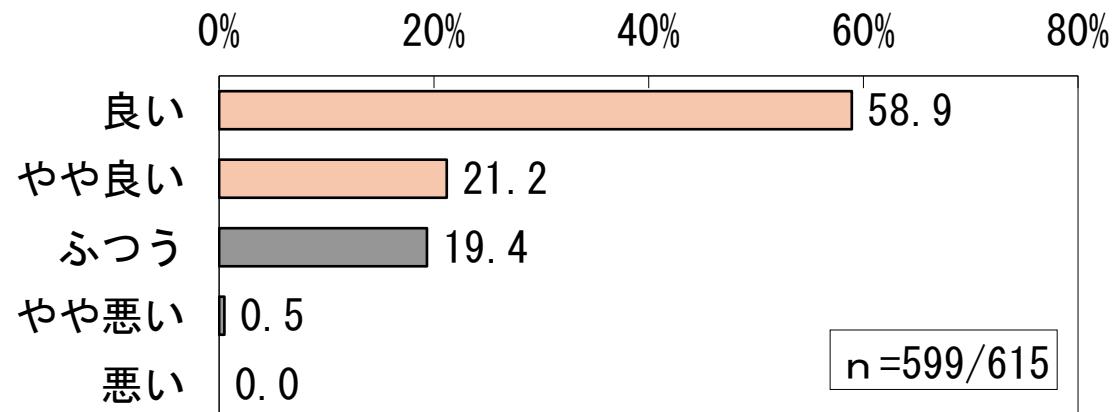
「良い」と「やや良い」の合計が83.5%。



アンケート調査結果「乗務員の態度」※評価項目

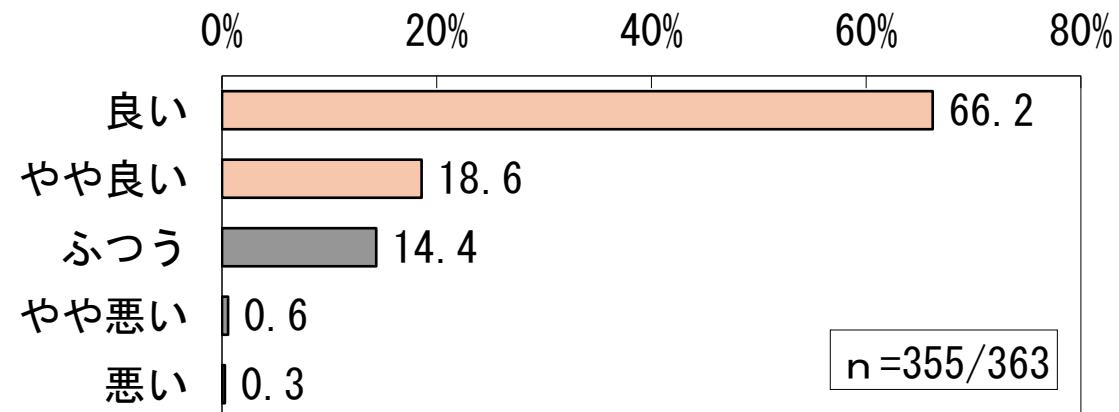
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「良い」と「やや良い」の合計が80.1%。



千里山地域（たけのこルート）

「良い」と「やや良い」の合計が84.8%。



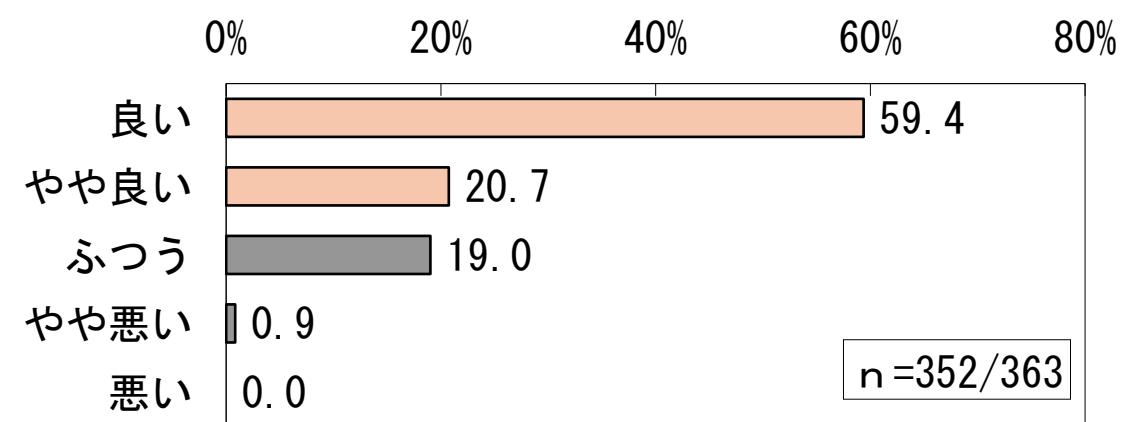
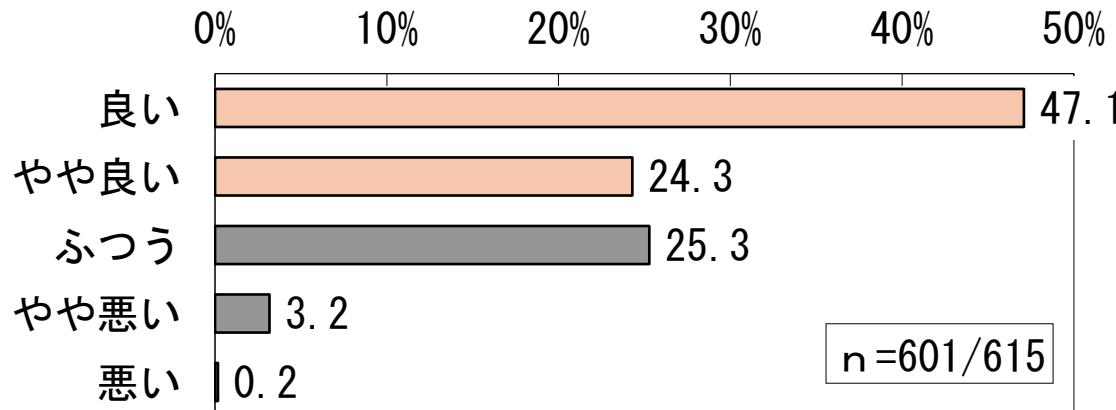
アンケート調査結果「車内の快適性」

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「良い」と「やや良い」の合計が71.4%。

千里山地域（たけのこルート）

「良い」と「やや良い」の合計が80.1%。



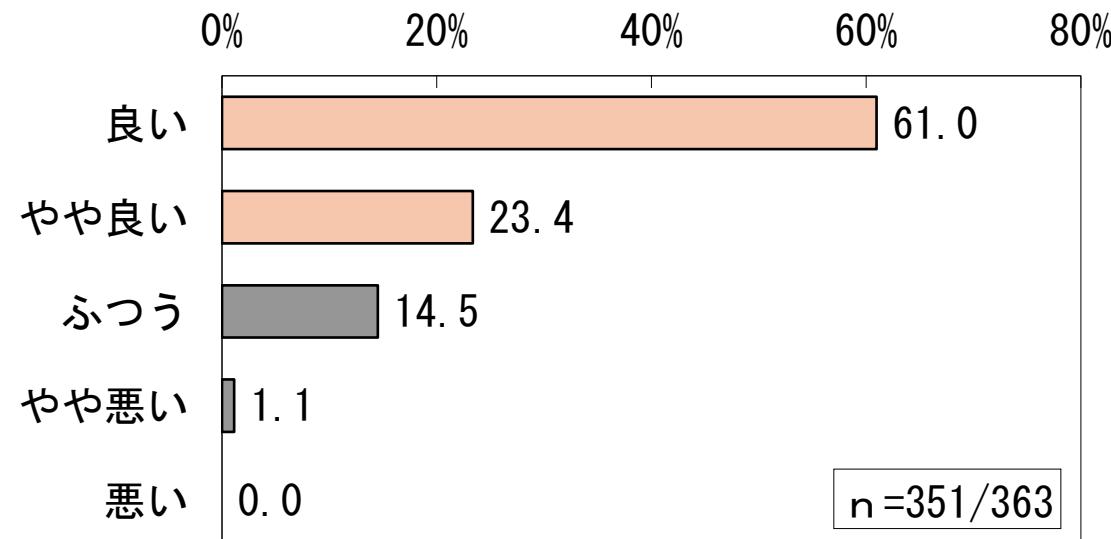
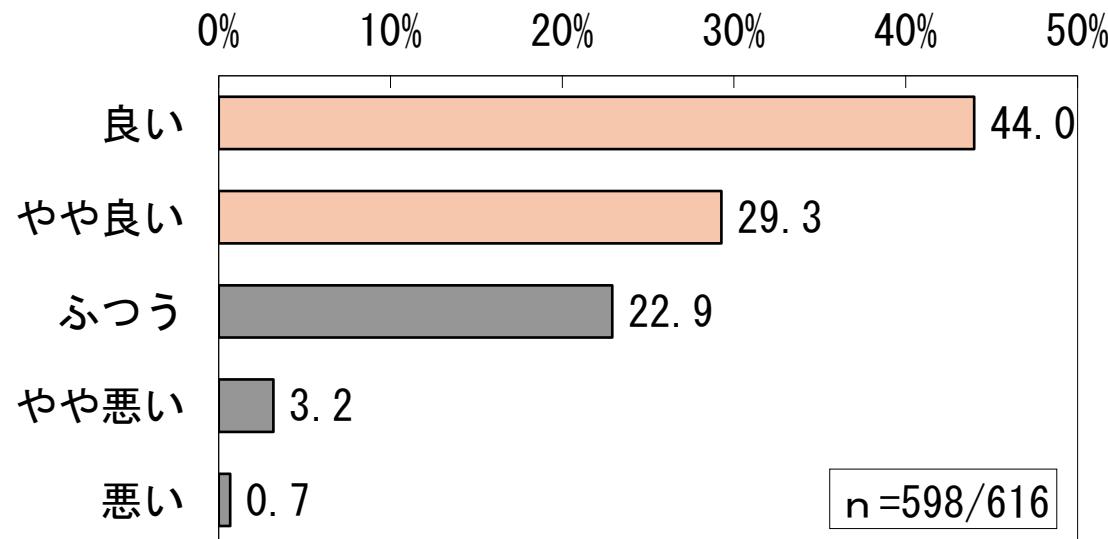
アンケート調査結果「全体の満足度」※評価項目

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

千里山地域（たけのこルート）

「良い」と「やや良い」の合計が73.3%。

「良い」と「やや良い」の合計が84.4%。



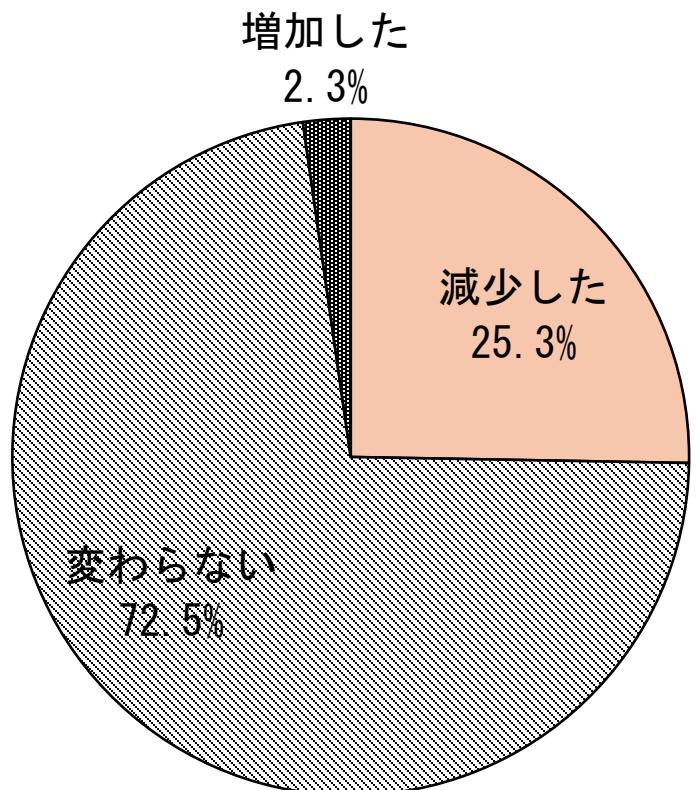
アンケート調査結果「運転頻度の変化」※評価項目

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

千里山地域（たけのこルート）

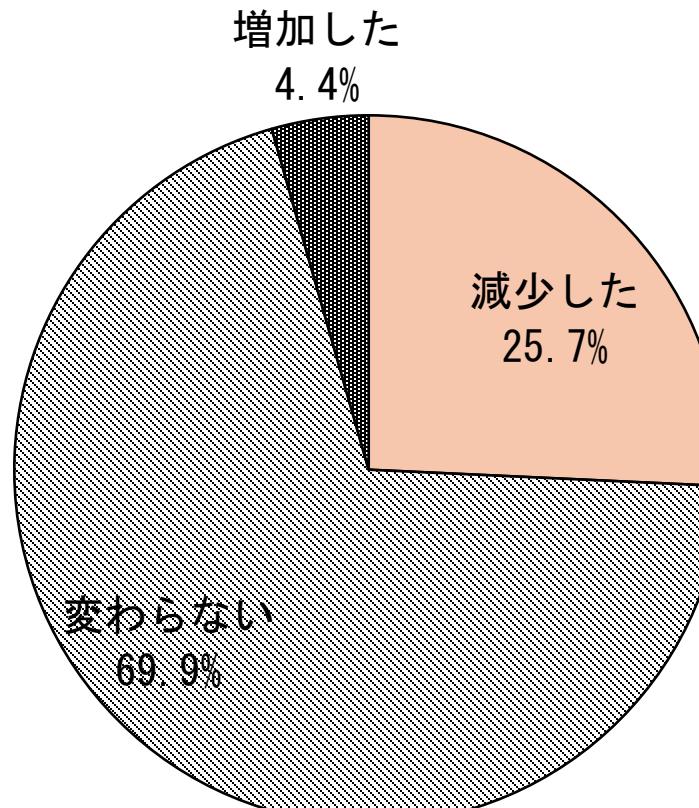
「減少した」が25.3%

「減少した」が25.7%。



n=265

※自家用車の保有者対象



n=136

※自家用車の保有者対象

アンケート調査結果「主な利用者意見」

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

千里山地域（たけのこルート）

- 運行便数について

(朝・夜運行時間の延長、本数の増加)

- 感謝・継続を望む声

- 運行ルートの変更

(茨木駅、岸辺駅、市役所、摂津市方面、エキスポシティ等)

- 乗務員態度・運転

(良い対応、安全運転、歩道近くに停車してほしい等)

- 運賃が割高に感じる

- 車内の快適性について

(狭い、荷物を置くスペースがほしい)

- 感謝・継続を望む声

- 運行便数について

(朝・夜運行時間の延長、本数の増加)

- 運行ルートの変更

(桃山台駅、江坂駅等)

- 乗務員態度・運転

(良い対応、安全運転、歩道近くに停車してほしい等)

- 車内の快適性について

(座席数が少ない)

※自由回答から多い意見を一部抜粋

課題整理・改善案検討（千里丘地域）

【利用者数】

- ◆ 前回の評価会議時から新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減から回復傾向にあったが、令和6年度は過去最高の利用者数となった。引き続き今後の利用者の推移を注視していく。

【収支率】

- ◆ 利用者の増加を受け、収支率も年々増加している。今後の利用者の推移を注視するとともに、広告等の収入の確保に努める。

【サービス満足度】

- ◆ 運行ルート・事業全体に対する満足度は高いものの、運賃の満足度については低くなっている。これは令和6、7年で運賃が50円上昇したことが原因と考えられる。ただし、燃料費・人件費の高騰や市域を運行する他の路線バス路線をご利用されている方々との公平性から市民の方へのご理解を頂く必要がある。
- ◆ 朝夕の運行時間の延長・増便については、自由記入欄にも多く求める声をいただいているが、様々な課題があることから、ただちに行なうことは難しいため、状況等を運行事業者である阪急バス(株)と共有していく。
- ◆ 乗務員の運転技術・態度はどちらも高い評価を受けており、引き続き満足度の高い運行サービスを目指して頂く。

【マイカー利用頻度】

- ◆ 引き続きマイカーから公共交通への転換のPR活動を実施し、環境負荷低減に寄与できるよう努める。

課題整理・改善案検討（千里山地域）

【利用者数】

- ◆ 令和4年2月から試験運行を開始し、令和6年4月から本格運行に移行した。本格運行に移行してからも順調に利用者数が増加している。引き続き今後の利用者の推移を注視していく。

【収支率】

- ◆ 利用者の増加を受け、収支率も年々増加している。今後の利用者の推移を注視するとともに、広告等の収入の確保に努める。

【サービス満足度】

- ◆ 運行ルート・事業全体に対する満足度は高いものの、運賃の満足度については低くなっている。これは本格運行が開始された令和6、7年で運賃が50円上昇したことが原因と考えられる。ただし、燃料費・人件費の高騰や市域を運行する他の路線バス路線をご利用されている方々との公平性から市民の方へのご理解を頂く必要がある。
- ◆ 朝夕の運行時間の延長・増便については、自由記入欄にも多く求める声をいただいているが、様々な課題があることから、ただちに行なうことは難しいため、状況等を運行事業者である阪急バス(株)と共有していく。
- ◆ 乗務員の運転技術・態度はどちらも高い評価を受けており、引き続き満足度の高い運行サービスを目指して頂く。

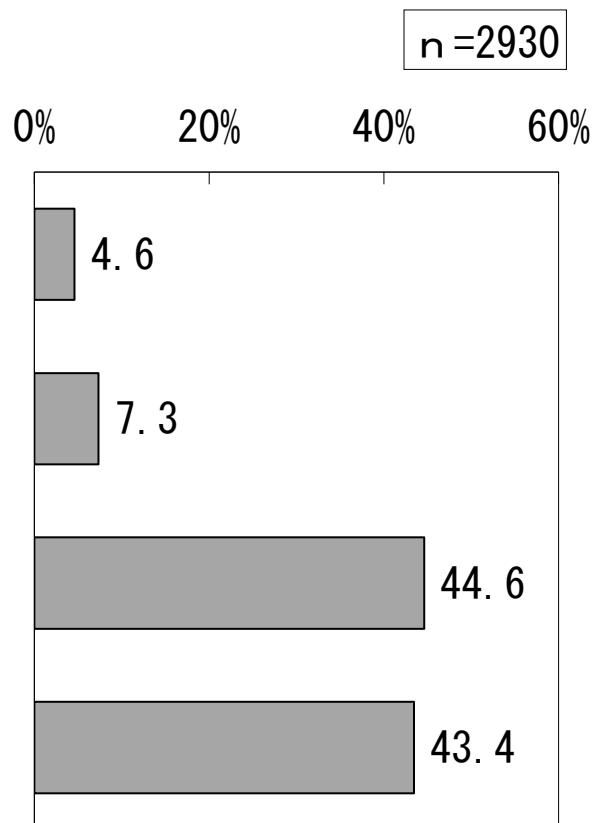
【マイカー利用頻度】

- ◆ 引き続きマイカーから公共交通への転換のPR活動を実施し、環境負荷低減に寄与できるよう努める。

公共交通に関する市民アンケート調査 関連質問結果

調査概要		すいすいバスの利用状況
項目	内 容	
調査法	<ul style="list-style-type: none"> 郵送調査法（お礼兼督促無し、無記名方式） 市ホームページにおける公開型アンケート 	「名前のみ知っている」が最も多く44.6%、次いで「知らなかった」が43.6%。 全地域の状況
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 15歳以上の吹田市民（令和7年9月1日時点） <p>※1：無作為抽出</p>	n = 2930
調査時期	令和7年9月16日（火曜日） ～ 令和7年10月31日（金曜日）	現在、利用している 過去に利用したことがあるが、今は利用していない
配布数	<ul style="list-style-type: none"> 郵送調査：6,000部(各地域1,000部)※2 公開型アンケート：自由参加方式 	名前のみ知っている 知らないかった（このアンケートで初めて知った）
回収数	2976件	

※2地域区分：千里ニュータウン・万博・阪大地域、山田・千里丘地域、片山・岸部地域、JR以南地域、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域



公共交通に関する市民アンケート調査 関連質問結果

すいすいバスの利用状況

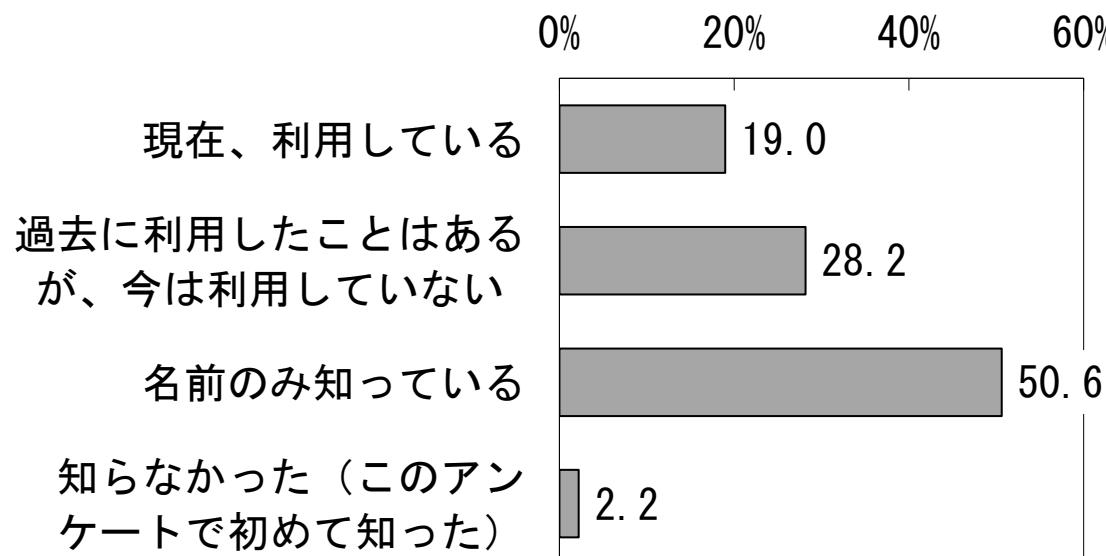
千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「名前のみ知っている」が最も多く51.0%、
「過去に利用したことはあるが今は利用していない」が27.7%。
一方、「現在、利用している」が19.0%。

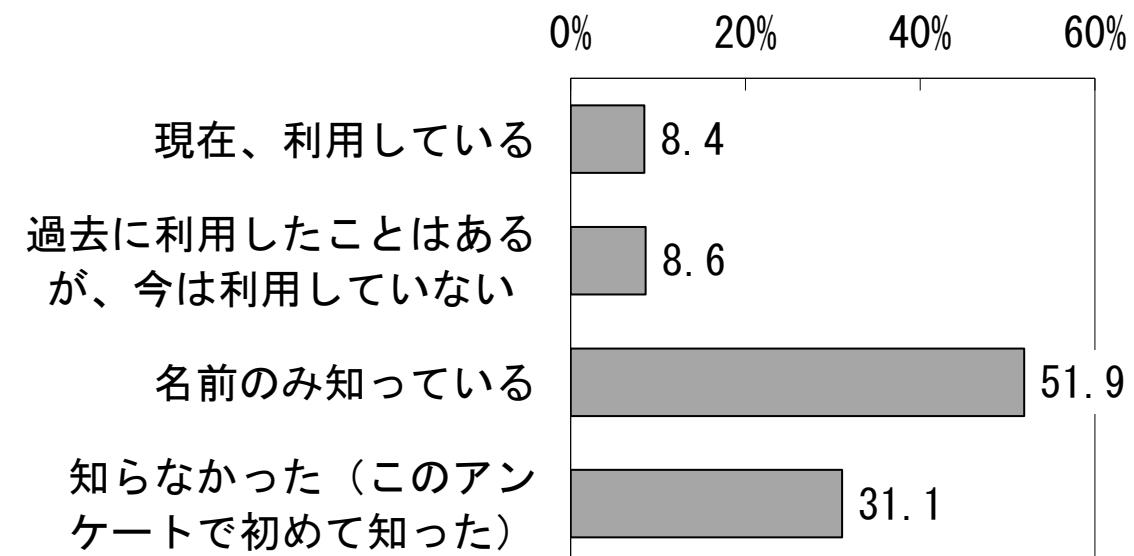
千里山地域（たけのこルート）

「名前のみ知っている」が最も多く51.8%、
「知らなかった」が31.1%。
一方、「現在、利用している」が8.4%。

n = 316



n = 605

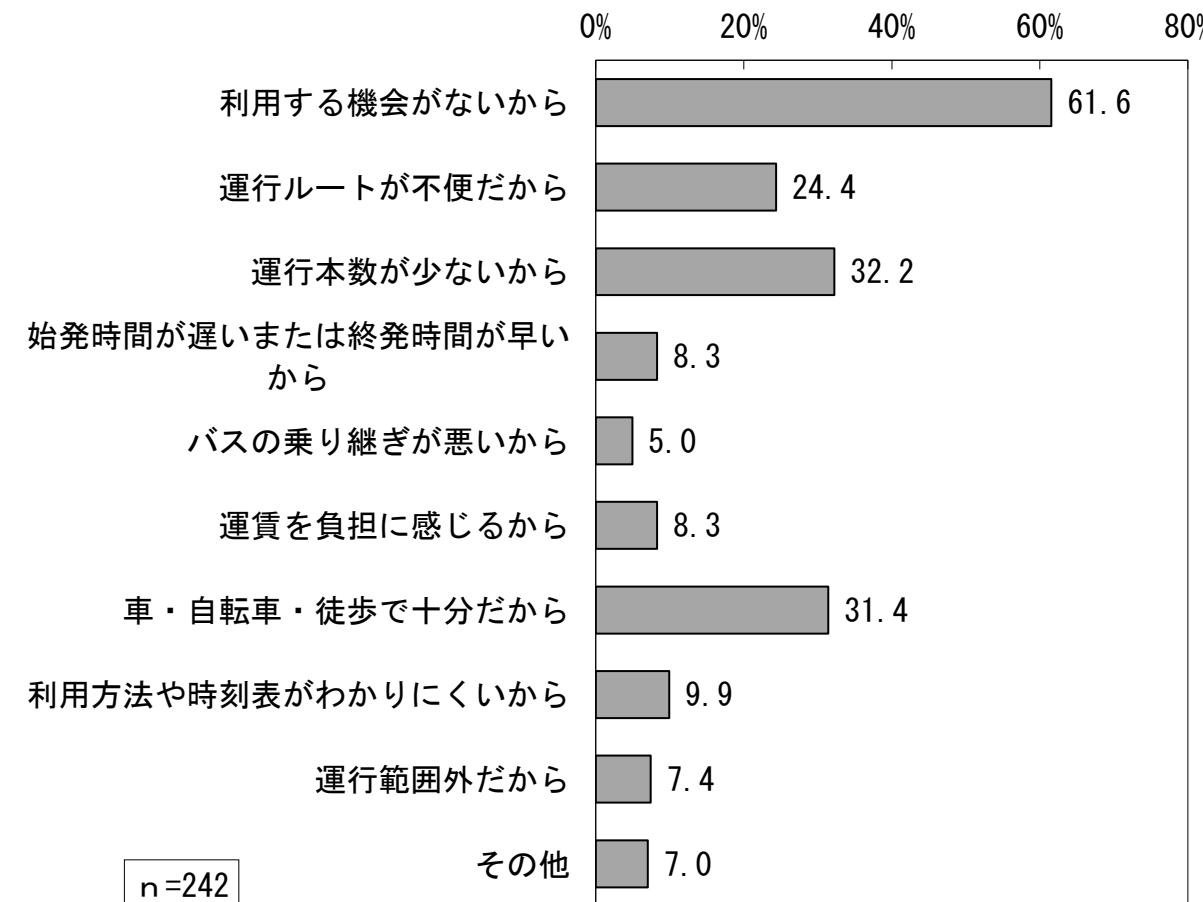


公共交通に関する市民アンケート調査 関連質問結果

すいすいバスを利用していない理由

千里丘地域（あおば・ひまわりルート）

「利用する機会がないから」が最も多く61.3%、「運行ルートが不便だから」「運行本数が少ないから」が約12%。



千里山地域（たけのこルート）

「利用する機会がないから」が最も多く61.5%、「運行ルートが不便」「運行本数が少ない」「車・自転車・徒歩で十分だから」が約7~10%。

